PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number:

59-043578

(43)Date of publication of application: 10.03.1984

(51)Int.Cl.

H01L 31/04

(21)Application number: 57-153431

(71)Applicant: NIPPON DENSO CO LTD

(22)Date of filing:

03.09.1982 (72)Inve

(72)Inventor: ISHIKAWA HIROSHI SUZUKI MASAHIKO

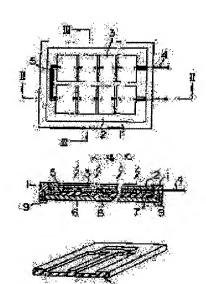
HORIUCHI YASUHIRO

(54) SOLAR BATTERY PACKAGE

(57) Abstract:

PURPOSE: To improve solar light transmission rate and prevent a solar battery cell and glass from damaging at the assembling time by employing a fixing member which has a recess matched in shape to an electrode wire to the battery cell and is formed of soft rubber having elasticity.

CONSTITUTION: Solar battery cells 3 are mutually connected via electrode wirings 5 by fixing member 6 made of soft and elastic silicone rubber formed in shape connected to electrode wirings by aligning cell group, and electrode lead wirings 4 are provided at the prescribed position. A cover 8 which is formed of aluminum is secured with screws 9 to a case 1 from the back surface of the member 6. Deformable stopper 7 made of aluminum or plastic is formed on the periphery of the member 6, excess deformation is prevented at the member 6 by screws 9, thereby preventing the damage of the cells 3 and glass 2.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

(19) 日本国特許庁 (JP)

⑩特許出願公開

⑩ 公開特許公報(A)

昭59—43578

6DInt. Cl.3 H 01 L 31/04 識別記号

庁内整理番号 7021-5 F

昭和59年(1984) 3 月10日 **43公開**

発明の数 審查請求 未請求

(全 3 頁)

外4名

Ø太陽電池パッケージ装置

刈谷市昭和町1丁目1番地日本

電装株式会社内

20特

昭57-153431

明者 堀内康弘 79発

23H 昭57(1982)9月3日 願

刈谷市昭和町1丁目1番地日本

四発 明 老 石川浩

创出 願人

日本電装株式会社

刈谷市昭和町1丁目1番地日本 電装株式会社内

雷装株式会社内

刈谷市昭和町1丁目1番地

(2)発 明 者 鈴木昌彦 個代 理 人 弁理士 浅村皓

瞑 裫 4

1. 発明の名称

太陽電池パッケージ装置

2. 特許請求の範囲

(1) 太陽電池素子に電極線を連結した形状に合つ た四部をもち、弾力性のある軟質のゴムで形成さ れた固定部材の前記凹部の所定の位置に、前記太 陽電池素子と電極と電気取出線を配置し、透明度 の高いガラス又はプラスチックの上蓋とアルミニ ウム等の下灘とで狹踏された構造を有する太陽電 池パッケージ装價。

(2) 特許請求の範囲第1項記載の太陽電池パッケ ージ装置において、前記下蓋を取付ける際などの 過大な締め付け力により、前記固定部材の過大な 変形を防止するための変形ストッパを有する太陽 観池パッケージ転置。

3. 発明の詳細な説明

本発明は太陽電池用パッケージ装置に関するも のである。従来、との種装置はガラス等による太 陽光の当る部分が遊明なケースに太陽電池の素子

を並べて透明樹脂で固定したもの、或いはアクリ ル樹脂で一体成形したもの、さらに樹脂に太陽電 徳素子の形状に合せて四部を設け、との部分に透 明シリコン接離剤を封入して間めたものであるが、 とれらの従来品の欠点は(1) 素子を並べて領極で接 続し、これらをケースに収める場合の作業性が極 めて悪く、との欠点はコスト高の原因にもなつて いた。(2) 紫子を固定するためのシリコン接着剤と アクリル樹脂は太陽光の透過率が悪く、電池の出 力低下の原因となつていた。

本発明はこれらの欠点がなく、組立容易で太陽 光の透過性がよく、従つて出力効率が高く、しか も本装織の取扱いにより部材の変形、破損等の極 めて少い太陽電池用パッケージ装置を提供するも のである。

本発明を図面により説明する。第1図から第4 図は本発明の1つの実施例の構造を示している。 ケース!はアルミニウム等の使用に適当な強度を 有する材料で作成された一定の彫みを有する長方 形の枠状であり、ケース1の上面にはガラス2を

特開昭59-43578(2)

周囲で支持するために枠の内側の全周又は一部が 少し突起し、ガラス2を入れたケース1内には第 3 図の如く、素子群を並べて電極にで連結した形 状に含せて形成された銅4図の如き軟質で弾性の あるシリコンゴム製の固定部材 6 により、前配太 陽電池3のそれぞれは電極線5により相互に連結 され、電極取出線 4 が所定の位置に設けられる。 上記の如く組立てられた太陽電池素子群はシリコ ンゴム等の固定部材もの背面からアルミニウム等 の適当な強度比重を有する材料で作られたカバー 8を複数個のネジリで前配ケース」の背面に固定 するものであるが、ネジョであまり強く締めると 素子3やガラス2を破損する恐れがあるので、前 記のシリコンゴム等で作製された固定部材6の周 聞でケース1の内側にアルミニウム又はプラスチ ツク等の適度の剛性を有する変形ストッパイを設 けると、ネジョにより前配固定部材 6 に過大を変 形を超すことを防ぐことができ、その結果素子3 やガラス2を破損するととなく、太陽電池素子3 等の部品を固定することができる。

を有するために組立の際は作業性はよく級速な組立が可能であり、太陽光透過率がよく、組立作業 時の素子、ガラス等の破損を防止することのでき るものである。

4. 図面の簡単を説明

第1図は本発明の太陽電池パッケージの平間図、 第2図は第1図のⅡ-Ⅱ断面図、第3図は第1図 のⅢ-Ⅲ断面図、第4図は固定部材、第5図は変 形数収部を有する固定部材、第6図は本発明の太 陽電池を取構のサンルーフに設けた図である。

1 … アルミケース、2 … ガラス、3 … 太陽電池 素子、4 … 電気取出線、5 … 電板、6,6 a … 固 定部材、7,7 a … 変形ストッパー、8 … アルミ カバー、9 … ねじ、10 … 太陽電池パッケージ (部品1~9で構成)、11 … サンルーフ

前記の素子 3 等の固定部村 6 は第 5 図の如く、前記素子 3 等をセットする面の要面に凹所を設ければ、この固定部材 6 a は超立時の変形を更に吸収し、案子 3 ガラス 2 の破損を更に防止することができる。この変形吸収効果は要面の凹所の大きさを図の如く上面の素子群取付部より大きくすれば、変形はよく吸収され、距離 8 (ほど凹所課さ)だけとれば最もよく吸収される。第 5 図の如く固定部材 6 a 中に静配材料の変形ストッパ7 a を埋め込んでおけばきらに作業性は向上する。この変形ストッパ7 a は 1 休化もしくは適当数のものを使用することができる。

新も図は前述の太陽電池パッケージ10を車舶の開閉可能のサンルーフ11に取りつけた使用例を示したが、この電力により、換気ファン(図示せず)を回したりパッテリーを充電することもできる。なか、カパー8を使わないで、サンルーフ11に直接取付ければ、それだけコストを低くすることができる。

本発明の太陽電池パッケージ10は上記の構造

才 4 図

